



前車との安全な車間距離の確保

安全な車間距離の目安

【一般道路】

一般道路では、前車との車間距離を的確に判断するのは難しい面がありますので、距離ではなく時間で車間距離を確保するのがよいでしょう。具体的には、前方の電柱や標識などの目標物を前車が通過後に、自車はその目標物に到達するまでの時間（秒数）を計るというもので、最低でも2秒以上、できれば3秒以上とるのが望ましいでしょう。

【高速道路】

高速道路では、時速を距離に置き換えた数字、たとえば時速100キロメートルであれば100メートル、時速80キロメートルであれば80メートルが必要な車間距離の目安とされています。高速道路では車間距離確認区間が設けられていますから、その区間で、必要な車間距離が確保されているかどうかをしっかりと確認しましょう。



いつもより長い車間距離が必要な場合

上記の安全な車間距離の目安は、乾燥した路面で、ドライバーも疲労等のない正常な状態、車の整備状態も適正という条件のもとでの目安です。路面が濡れていたり、ドライバーが疲れているとき、タイヤが摩耗しているときなどは、いつもより長い車間距離をとる必要があります。



友だち募集中！

友だち登録でお得な特典がございます。
お気軽にご登録ください。



株式会社大東工業

●保険・福祉車輛受付
名古屋市中川区中野新町4-35
TEL 052-354-5433
FAX 052-354-5439